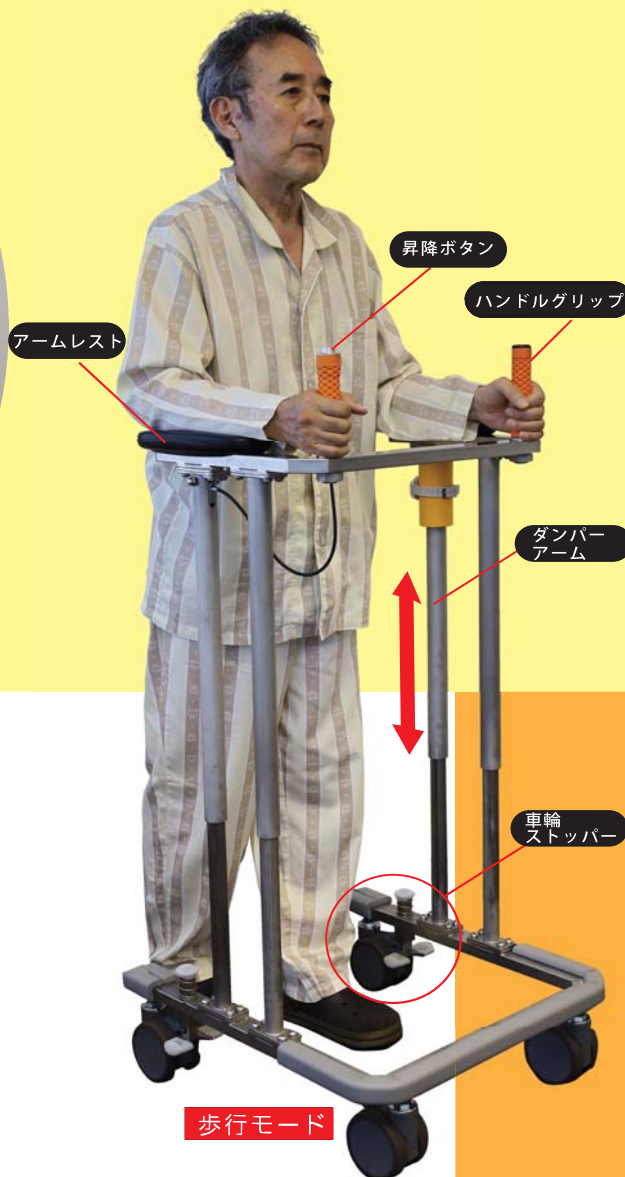


起立着座リハビリ支援車 (要介護1・2程度の対象者向け)



起立・着座モード



歩行モード

リハビリ中の着座動作時の怪我リスクを軽減する為、体重を支えながら緩やかに下降する機能を非電動で有し、安心して着座することが出来ます。身体能力を活かした起立着座をサポートすることをコンセプトとした「自由自座位」は運動維持やリハビリ効果の他にも介助者の負担軽減も期待されます。(特許申請中)

サポート機構で安全着座

着座は転倒のリスクを軽減するための緩やかに下降を行うサポート機構を採用しています。

起立訓練に最適ポジション

起立は肘を支点に体重を前傾に移動して自力で起立、体幹移動訓練に最適です。

体型に合わせて高さ調整

各自の体型に合わせてアームレストの位置を調整出来るので安定した歩行が出来ます。

使いやすいストッパー

車輪ストッパーは支援車の内側と外側の両方から操作できるため、介助者による操作も楽に行えます。

主な仕様

サイズ
幅 : 59 cm
奥行 : 59 cm
高さ : 79~107 cm

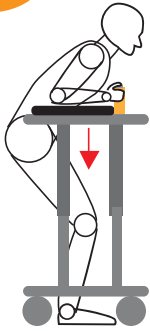
重量 : 19Kg
車輪径 : 10cm

操作説明

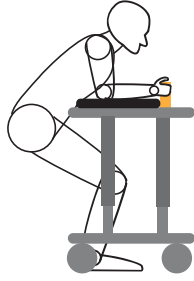
座る

着座アシスト機能で安心・安全着座

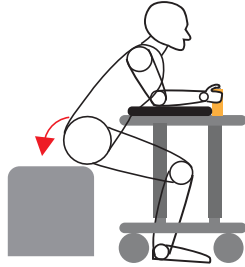
アームレストがゆっくりと下降します



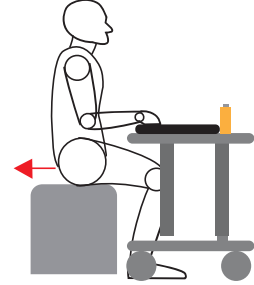
ストッパーを押し込みロックをかける
アームレストに体幹を預け昇降ボタンを押す



アームレストがゆっくり下降する、体はアームレストに預けたままの前傾



前傾姿勢のまま、座面にお尻が当たるまで腰を下げる



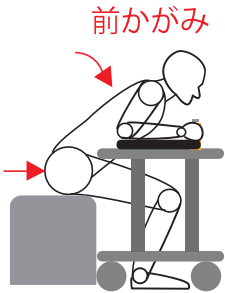
重心をしっかりと座面に移動

立つ

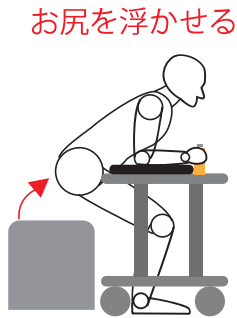
重心移動、筋力アップ効果が安定して行えます

歩く

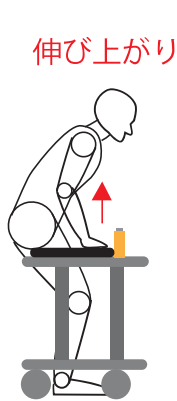
スムーズな歩行



左右のストッパーをロックにして体幹をアームレストに預け、前傾姿勢をとる



前傾姿勢のまま、座面からお尻を浮かせる



腰を少しずつ伸ばし肘・腕、下肢の力で伸び上がる



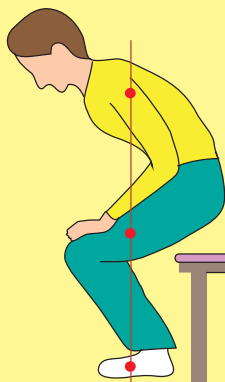
昇降ボタンを押してアームレストを肘の位置まであげる



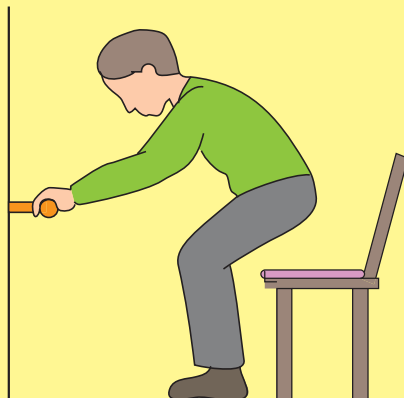
左右のストッパーを解除にして体幹をアームレストに預けて歩行

自由自座位が起立訓練に最適な理由

健常者が起立する場合、真っ直ぐ立ち上がるイメージがありますが、無意識に前かがみをして体幹バランスを保った状態をつくってから伸び上がりを行います。これは鉄棒によるリハビリ訓練でも同様、前かがみからお尻を浮かせ伸び上がることで体幹バランスを掴む動作をマスターしています。「自由自座位」は起立動作に必要な重心移動がスムーズに行え、筋力アップと身体バランスの安定向上に役立ちます。



起立基本動作



鉄棒による起立動作



自由自座位による起立動作